

令和5年度 第4回大山崎町社会教育委員会議（報告）

- I 日 時 : 令和6年2月27日(火) 午後3時～同4時15分
II 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室
III 出席者 : 15名
○ 出席委員（7名）
○ 事務局（8名）
教育長・教育次長・学校教育課長・生涯学習課長・中央公民館長・体育館長・生涯学習スポーツ振興係リーダー・同係主任
IV 会議名 : 令和5年度第4回大山崎町社会教育委員会議
V 内 容 : 以下のとおり

【要点】

2件の議題（(1) 令和5年度生涯学習課関係事業報告について、(2) 令和5年度社会教育委員会議関係事業報告について）について、審議のうえ、いずれも承認された。

また、事務局から3件の報告を行った。

なお、傍聴希望者はなかった。

- | | |
|-----------|-----|
| 1 開 会 | 事務局 |
| 2 教育長あいさつ | 教育長 |
| 3 委員長あいさつ | 委員長 |

※ 大山崎町社会教育委員会議運営規則による会議成立の宣言（定足数を満たす7名の委員の出席を確認）

4 議 題

※ 以降の進行は委員長が担当

- | | |
|---|-----|
| (1) 令和5年度生涯学習課関係事業報告について | 事務局 |
| 事務局から令和5年度（11月16日～2月15日）の町社会教育委員会議に関係する事業実績について報告 | |

* 質疑応答

<大山崎瓦窯跡の範囲確認調査について>

委員

大山崎瓦窯跡について、範囲確認のための調査を開始されたそうですが、今までに12基出ていると思いますが、どの場所を調査されるのですか。それから、12基よりさらに増えるかもしれないということですか。

事務局

数年間隔で範囲確認の調査を実施しているところですが、現在行っている桜の広場線路側の調査では、2基のみが出土している状況です。従前その周りを調査したときも他の瓦窯の跡は出ておりませんし、これまで瓦窯は隣の窯と等距離で出土していることから、現調査ではおそらく2基のみではないかと考えております。なお、山崎聖天の階段の南側も調査を実施し、瓦窯の跡の出土はありませんでしたが、瓦の運搬などのための施設等がないか継続的に調査しています。

委員

斜面なので調査も難しいですね。以前に宝寺の階段横を調査されたときにも、大雨が降ったときに土砂が下に流れないか心配しました。

事務局

前回調査時に近隣の方からもご心配の声を受けて、開発者において調査時には土砂が下に流れないように土のう等を設置する対応をいただいております。

<親子防災教室について>

上田

2月4日に開催された親子防災教室では、日帰りで防災キャンプをされたとありますが、どちらに行かれたのでしょうか。

事務局

場所は中央公民館です。毎年、中央公民館で実施している子ども防災キャンプ事業で、過去には宿泊を伴ったこともあります。ここ数年は日帰りで実施しております。去年と今年は、自宅避難も想定して中央公民館で実施しました。

委員

先日料理教室をしているときに地震が起きて結構揺れましたが、家庭科室の机の下が物入のようになっていて、子どもたちが入れませんでした。最初に火を止めて、机の下に隠れようと思ったのですが入れず、とっさに丸椅子を持って頭を守ろうと言って、傘のようにしました。普通教室だと、机の下にもぐり込むと思うのですが、特別教室ではどのように対応するよう想定されているのでしょうか。

事務局

町では年に1回シェイクアウト訓練を実施しておりますが、何も無いところでも「姿勢を低く」「頭を守る」「動かない」というのが三原則で、丸椅子で頭を守るのも正解です。転倒しないようにという意味もありますので、何も隠れるところがないような場合は、机などに身を寄せてかがむことも大事です。ただ、鍋が

上にあったりすると、その下で隠れているのも危ないので、そのあたりは臨機応変ですが、基本的には身を低くして、頭を何らかの方法で守ることが大原則です。近年は、揺れている中で火や鍋に近づくと火傷の危険があり、大きい地震であればガスが遮断されるので、そのような場合は火を止めないということも言われています。学校にも最新の情報を共有しておきたいです。

<ドローン体験講座について>

委員

ドローン体験講座について、資料の写真にあるように小さなドローンを実際に操縦されたのでしょうか。

事務局

資料の写真は、橋や建物を描いた街の地図を下におき、プログラミングで災害状況を確認するため、小型のドローンを実際に操作して動かしている様子です。

この講座は、学校でこのような授業をされているという情報を得て、中央公民館でも連携をとりながら開催したものです。参加者の多くは小学生でしたが、中学生、大学生の参加もあり、多世代交流もできたと思っております。

委員

子どもたちにとっては面白いでしょうね。詳しく知りませんが、種類によっては免許が必要であったり、どこでも飛ばせるわけではないのですね。私も滋賀県でドローンを使って田畑に肥料を撒かれているのを見たことがあります。意外といろいろなところで使われていて、今は家電量販店の一角にドローンが並んで売られていて、すごい世の中になってきたなと思います。

<放課後マイプレイスについて>

委員

新しく放課後マイプレイスが始まりましたが、同じく放課後子ども教室として土曜日に実施してきたときめきチャレンジ推進事業と来年度も両方実施されますか。

事務局

はい、その通りです。

委員

新年度に向けて放課後マイプレイスを開設され、今年1月から動き出してこれまでの登録人数、参加人数をお聞きしました。私自身も月1回か2回、第二大山崎小学校の放課後マイプレイスに顔を出させていただきましたが、新年度に向けて生涯学習課としては現状をどのように認識されているのかを教えてくださいませんか。

事務局

放課後マイプレイス事業は、1月15日から開始して約1か月余り経ちました。

第二大山崎小学校は、最初は少なく利用児童がゼロの日もありましたが、徐々に友達を誘ってという形で増えてきて、毎日数名が来るようになっております。大山崎小学校は順調で50名近くが登録しており、毎日数名は利用しています。また週に1回のレクリエーションには、先週は10人を超える参加もありました。1月からスタートして徐々に広がるよう、新年度4月に向けての準備期間という位置付けをしておりましたので、今のところは順調かなと思っております。ただ、この間も保護者の方からいろいろご要望等もありましたので、今後内容の充実を図らなければなりませんし、何より子どもにとっても魅力ある場所となるよう、来年度は少しバージョンアップできるように考えております。

◎各委員が承認

- (2) 令和5年度社会教育委員会議関係事業報告について 事務局
事務局から令和5年度(11月25日～2月15日)の生涯学習課関係の事業実績について報告

* 質疑応答

< 第2回乙訓社会教育委員等連絡協議会研修会について >

委員

講演では、講師の方が大変な頁数の資料を出されて、面白くお話を聞かせていただきました。屏風づくりを通して人との繋がりもつくるというユニークな取り組みであり、誰でもできるものではないなと感心しました。

委員

高齢の方が体験されたことが若い世代にほとんど伝わっていないので、それを掘り起こす取り組みは非常に面白いなと思って聞きました。子どもたちにとっても、何にもない地域と思っていたのに、こんな歴史があったのかと反応が出てくるのではないかと思います。

講演では、過疎化や高齢化が進み人口が減少する「人の空洞化」、耕作放棄地や空き家が増え、所有者不明の山林が増える「土地の空洞化」、集落機能が崩壊し社会生活の維持が難しくなる「村の空洞化」についてお話がありましたが、その通りだなと感じました。

委員

以前に近畿地区大会の大きな会場で同じ講演を聞きましたが、今回は講師の方が目の前におられる小さな会場で聞きましたので、とてもよく理解できました。講演では、地域みなさんが協力して絵屏風を作られる中で、「五感」の体験を聴き取って集めてそれを絵屏風にされたということでした。みんなで作って、みんなで使って、育てていくというお話でした。

委員

グループワークではかるた作りをしました。自分がいる場所を絵で表すのはなかなか難しかったですが、グループで心に浮かぶ懐かしい風景のかるたを作ったときは、豆腐屋のラッパの音が懐かしいという方が多く題材にしました。私以外は乙訓地域で育った方であったので話が共通していましたが、私は北海道に住んでいたため、近くの千歳空港からアメリカ軍のジェット機がどんどん飛んで練習していたことや、近所で蒸気機関車を人間の手で押して回して方向転換していたのをじっと眺めていたことが思い出です。

委員

私もどうしても子どもの頃が懐かしく思われて、大山崎町のことを描けず、「ふるさと」というテーマとなかなか結びつかなくてもどかしさを感じました。

委員

私も難しさを感じました。でも、郷土を共有している方々にとってはとてもいい方法だと思いました。

<令和6年度近畿地区社会教育研究大会京都大会について>

委員

先日の実行委員会では、日時は令和6年9月6日金曜日、場所は京都テルサ、研究主題を「人が繋がり合う地域を目指して～ウェルビーイングを高める社会教育のあり方～」として開催する案を固めました。

当日は午前中に開会行事と記念講演がありますが、記念講演は京都らしいものということで、祇園祭に携わっておられる公益財団法人鷹山保存会の方に講演いただき、できれば囃子方にも参加してもらおうという方向で話を進めているということでした。

今後4月の下旬に大会実行委員会、5月に近畿各府県の担当者会議、6月にあらためて大会実行委員会と、9月に向けてほぼ毎月会議が予定されております。

◎各委員が承認

5 その他

事務局

※ 以降の進行は事務局が担当

事務局から次の3件について報告

- ① 町議会定例会（12月）における一般質問・答弁について（生涯学習課関係）
- ② 複合化施設整備にかかるこの間の経過について
- ③ 令和6年度当初予算案について（生涯学習課関係）

